【様式　4】

【分科会用】施策評価シート

（分科会名）　総務分科会

第五次総合計画上の位置づけ（施策の体系）	⑤	魅力・文化 ～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤－１	『柏崎らしい』個性をはぐくむ
	⑤－１－１	柏崎の魅力を高め、良さを伝える
施策評価対象の選定理由（評価のポイント）	人口減少が進む柏崎において、関係・交流人口の増加、移住・定住の推進につながる重要な施策であるため。	

１　施策評価のための評価対象事業

事業№	科目	事業名
①	01-02-01-06-008-002-007	ふるさと応縁事業
②	01-02-01-06-008-002-009	柏崎シティセールス推進事業
③	01-02-01-06-008-002-014	Ｕ・Ｉターン促進事業

２　施策評価

		施策評価
評価　Ａ	施策の実現に近づいているので、このまま推進する	Ｂ 評価
評価　Ｂ	施策の実現に近づいているが、さらに事業の改善・見直しが必要	
評価　Ｃ	施策目的の実現に近づいていないので、分析と見直しが必要	
評価　Ｄ	施策目的の実現に近づいていないので、抜本的改善が急務	

３　施策評価に対する具体的な評価の記述

選定した３事業では、それぞれ新たな取組を進めることにより一定の成果は得ているものの、なかなか移住・定住に結び付いていかない。背景には、同様の施策・事業を進める他市町村との自治体間競争によってヒト・モノ・カネの奪い合いが生じている側面もあるのではないかと推察する。
施策の効果として期待する人口減少の抑制につなげるには、「柏崎らしさ」を極めることにより他の自治体との差別化を図り、全庁的な連携の下、柏崎での仕事や暮らしが魅力的なものとして捉えられるよう取り組むことが必要だと考える。

４　施策実現と政策実現に向けた今後の提案

（見直し事業名や予算・人員の増減等にも言及のこと）

ふるさと応縁事業においては、主力の返礼品である米に加え、六次産業化支援により農産物加工品拡大を図るとともに、商工業振興につながる新たな返礼品の開発・開拓に事業者と連携して取り組み、「ものづくりのまち」としての柏崎の魅力を市内外にPRすることで、他の自治体との差別化、柏崎ファンの拡大につなげていただきたい。
柏崎シティセールス推進事業においては、１万２千人を超える柏崎ファンクラブ会員の属性（居住地、年代、性別、入会のきっかけ等）を分析し、各層のニーズを踏まえたSNS等を活用した発信や交流機会の創出により会員同士のネットワークを強化し、会員自らセールスパーソンとして柏崎を応援していただける仕組みを構築していただきたい。
Ｕ・Ｉターン促進事業においては、各施策・事業の効果を全庁的に分析し、KPIを明確にした上で、移住・定住に係る関係各課が連携を密にし、「くじらと。」の更なる活用、ターゲットとする若者や女性のニーズを踏まえ、仕事や子育て支援・教育についての情報発信を強化し、定住人口の増加につなげていただきたい。
以上の提案を踏まえ、「柏崎らしさ」をつなぐまちを実現し、人口減少の抑制に努めていただくことを望む。

【様式　4】

【分科会用】施策評価シート

（分科会名）　文教厚生分科会

第五次総合計画上の位置づけ（施策の体系）	③	健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③－２	子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③－２－２	安心して子育てができる環境を充実させる
施策評価対象の選定理由（評価のポイント）	全国的に少子化が一段と進行しており、本市においても例外ではなく対策が急がれる中、第五次総合計画後期基本計画の重点戦略の一つとして、子どもを取り巻く環境の充実が掲げられている。妊娠・出産から高校卒業まで、子育て環境を整えることで少子化対策にも直結する。他自治体と比較して「子育て」が魅力的な柏崎市となるような取組と施策が重要であると捉え、選定対象とした。	

１　施策評価のための評価対象事業

事業№	科目	事業名
①	01-03-02-01-047-002-019	子育て世代包括支援センター利用者支援事業
②	01-04-01-01-053-101-001	母子健康診査費
③	01-04-01-01-053-101-007	産後ケア事業

２　施策評価

		施策評価
評価　A	施策の実現に近づいているので、このまま推進する	B 評価
評価　B	施策の実現に近づいているが、さらに事業の改善・見直しが必要	
評価　C	施策目的の実現に近づいていないので、分析と見直しが必要	
評価　D	施策目的の実現に近づいていないので、抜本的改善が急務	

３　施策評価に対する具体的な評価の記述

子育てに係る環境が年々多様化し、複雑化している中で、子どもを産み育てる環境を充実させることは重要である。妊娠期から子育て中において精神的に不安を抱えている人もいる中で、精神保健福祉士を採用し、メンタル面のサポートをしていることは評価できる。その反面、情報化社会にふさわしいＳＮＳなどでのタイムリーな情報発信と、誰もが利用しやすい体系（対象月齢、訪問型、利用料）を検討するなど、きめ細かな配慮が必要であると考え、Ｂ評価とした。

４　施策実現と政策実現に向けた今後の提案

（見直し事業名や予算・人員の増減等にも言及のこと）

安心して子育てができる施策実現のため以下のことを提案する。
・子育て世代包括支援センター利用者支援事業（令和６（２０２４）年４月１日よりこども家庭センター利用者支援事業に事業名変更）については、有資格者の複数配置など必要な人員体制の拡充を求める。
・母子健康診査費については、未受診者の受診率向上のために医療機関との更なる連携を強化すること。
・産後ケア事業については、利用しやすい環境の整備として、利用料の軽減や対象月齢、訪問型支援などの拡充を求める。
以上のことについて、今後の施策の展開において効果を十分検証し、子どもを取り巻く環境の充実が進行するよう期待したい。

【様式 4】

【分科会用】施策評価シート

（分科会名）　産業建設分科会

第五次総合計画上の位置づけ（施策の体系）	②	産業・雇用 ～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②－２	『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②－２－２	農林水産業の持続性を高める
施策評価対象の選定理由（評価のポイント）	農林水産業の経営支援と販路拡大に努め、付加価値が高い柏崎産ブランド米の魅力向上、スマート農業導入による省力化、農業資源を活用した六次産業化などを推進することから、農林水産業の持続性を高める重要な施策と判断したため。	

１　施策評価のための評価対象事業

事業№	科目	事業名
①	06-01-03-067-044-001	園芸振興支援事業
②	06-01-03-067-045-001	六次産業化支援事業
③	06-01-03-067-046-003	柏崎産米ブランド化推進事業

２　施策評価

		施策評価
評価　A	施策の実現に近づいているので、このまま推進する	B 評価
評価　B	施策の実現に近づいているが、さらに事業の改善・見直しが必要	
評価　C	施策目的の実現に近づいていないので、分析と見直しが必要	
評価　D	施策目的の実現に近づいていないので、抜本的改善が急務	

３　施策評価に対する具体的な評価の記述

農業経営を持続させるためには、所得の向上は重要であり、農林水産業の持続性を高める施策は評価できる。しかし、事業において更なる改善が必要と考える。
園芸振興支援事業については、取組は理解するが、土壌や気候条件など、地域によって異なることを考慮した生産者に寄り添った支援を更に進める必要がある。
六次産業化支援事業については、単年度での成果は現れ難く、専門的分野との連携をし、伴走型の取組が必要である。
柏崎産米ブランド化推進事業については、令和５年（2023年）の高温渇水の影響があり、米山プリンセス・シスターとして認証したことは、賛否両論ある。また、補助金に依存した栽培方法であり、生産量に対する補助額が高いと考えられる。農業所得向上に結び付けられたかの検証が必要であるとともに、ブランド化を推進するのであれば、ブランドの価値を低下させないような取組も考える必要がある。
以上のことから B 評価とした。

４　施策実現と政策実現に向けた今後の提案

（見直し事業名や予算・人員の増減等にも言及のこと）

農林水産業の持続性を高めるための施策は、継続することが必要である。
そのためには、単年度での成果が難しい事業においては、事業の統合を行い、予算の有効活用を図るべきと考える。
また、農業者に寄り添った事業とするためにも、分かりやすい事業名にするべきと考える。
最後に、様々な生産者の声を聞くことも必要であるが、偏った支援を行わない強い姿勢が重要である。